

◇平成26(2014)年6月12日 定例会質疑

No.72 灰垣和美議員

87号、関連の88号もそうですけれども、ともに賛成をするということを冒頭に申し上げておきます。その上で運用を速やかに進めていただきたいということを要望しておきます。先日、先進的に取り組んでいる芝谷中学校にお邪魔いたしまして、いろいろお話を聞きました。できるだけ早く導入していただいて、運用を進めていただきたいということをまず要望しておきます。

その上でちょっと意見と改めて要望させていただきますけれども、平成21年の6月、ちょうど5年前ですけれども、私、一般質問で、スクールニューディール政策についてご質問させていただきました。このニューディール政策というのは、改めてちょっとおさらいしますと、ご承知の方も多くいらっしゃると思いますけれども、1933年のアメリカ発の大恐慌が起こるだろうというときに、就任早々ルーズベルト大統領が大胆な公共投資をして、景気を回復させて、雇用の創出を生んで無事乗り越えたという、そういった政策にあやかって、このスクールニューディール政策、または環境省が提案したグリーンニューディール政策、そして我々が今提案している防災・減災ニューディール政策というのがございますけれども、この5年前に提案させていただいたスクールニューディールというのは、おさらいをしますと、ICT環境を整えていくというのが大きな一つの柱です。もう一つの柱が学校の耐震化と太陽光パネルでエコ改修というのをやっていこうと、これらを提案をさせていただきました。今回環境が整います。

ただし、このICT環境整備の中で、4つのことが文科省が推進をしています。教育用コンピューターを児童生徒3.6人に1台設置しようと、2つ目が校務用のコンピューターを教員1人に1台、3つ目は全てのテレビをデジタル化すること、4つ目は全ての普通教室に校内LANの設置と。この4つのうち3つは、高槻市は大体整ってきてたと思ってるんですけれども、教員用1人1台のパソコンというのが、実は他市にやっぱりおくれをとってたというのは否めない事実でございまして、その辺がスクールニューディール政策というのをどのように捉えたのかというのを改めて私は今回思ったんです。

というのは、学校耐震化、ことしの4月1日現在の全国の平均が出ました。この6月3日、4日に各紙で報道されましたけども、92.5%が進んでると。高槻市はどうだったんだという、やはりおくれをとっている、72.2%という部分でいけば、このICTにしても、この耐震化にしても、随分おくれをとっているというのは残念なことございまして、まず、私が要望したいのは1つは、以前にも申し上げました。国の動向という、先ほど市長のお話にもありましたけれども、しっかり見極めていただきたいと。高槻市は何をしようとしているのか、今何をしようとしているから、どういうことが必要なのかと逆転の発想といいますか、じゃあこういう政策、国の予算をこれをとってきたらできるんじゃないかとか、こういったことを考えていかなきゃいけない、そういった時代に来てると思いま

す。

学校耐震化に関しては、以前もちょっと紹介しましたがけれども、箕面市はそのニューデール政策をすぐに自分の市に取り入れて、規模は違いますけれども、23年末には学校全部の施設を100%耐震化もしましたし、それにプラス、トイレの美装化、これも一緒にやってしまったとそういったこともあります。高槻市も技監が今そちらにお座わりですけれども、国から来ていただいていますので、そういった意味でもしっかりとパイプを強く、太くしていただきたいということを1つ要望しておきます。

もう1つは、このICT環境が、先ほど言いました、いよいよ整います。先ほど言いました芝谷中学校の担当の先生が、校長先生、教頭先生も一緒に来ていただきましたけれども、やはり誇らしげにおっしゃってました。この21年に私が提案したときも、その辺のことを申し上げましたけれども、やはり授業に集中すると、子どもたちが。そういったことがやはりまず大きな効果だろうと思われれます。それから、コミュニケーションがとれると。ICTのCというのはコミュニケーションのCですから、そういった意味ではタブレット、またディスプレイを見ながら、テレビを見ながら子どもたちが集中して、お互いのコミュニケーションがとれるとか、また時間の効率がよくなると、短縮できると。例えば本をめくるのに時間がかかるけれども、このパソコンを使えばすぐに出てくるとういったこともおっしゃってました。またさらに、関心を私が持ったのは、少し障がいのある子どもたちがすぐに欲しいところに行けると、先ほど言いました教科書を一々めくるのに時間がかかる、しかしその画面を見ることによって、みんなが同じ方向を見て、そういった意味でも障がいのある方にも非常に効果があるというようなことをおっしゃってました。だから、これがハードパワーは全て整うというところに来ましたので、いよいよソフトパワーをどう構築していくかということになると思うんですが、アナログ時代の先生もいらっしゃいます。そういった人たちのスキルアップを一つお願いしたいのと、もう1つは5年前に質問させてもらったときに、先生で5年未満の経験者、要するに先生の経験ですね、これが半分近くいらっしゃると。要するに若い先生がふえています、今。皆さんもご承知のとおりだと思いますけれども、若い人たちはパソコン、スマホやいろんなものを使えますから技術はお持ちだと思うんですが、それに溺れないような、本来の授業の改善というのに本当にそれが役に立つようなそういった研修というか、講習を、何かスマホで遊んでいけるようなそういったことにならないようにひとつ。この2点お願いして、私の質問を終わります。

以上です。